



キミは日本のどんな所が好き？

「いるか句会へようこそ！ 恋の句を捧げる杏の物語」
堀本裕樹/著 駿河台出版社 2014年

913.6
ホ/E



やりたいこともなく退屈な毎日を送る大学生の杏は、ある日、母親に無理やり句会に連れていかれます。句会ってなに！？ という方でも安心。杏と一緒に学んでいきます。青春小説としても、俳句入門書としてもオススメです！

「アクアデコリーナ

粘土の金魚とUVレジン、クリスタルレジン、マジカルウォーターで作る水の世界」
鈴山キナコ/著 マガジンランド 2013年

751.4



日本の魚といえば、金魚！
金魚鉢や庭池、夏祭りのプールなど、金魚が泳ぐ水のオリジナルアクセサリーを作ってみませんか？今流行のレジンや粘土の使い方もわかりやすく解説されていますよ！

「風味◎さんじゅうまる」まはら三桃/著 講談社 2014年

913
マ/H

長崎街道通称シュガーロードには、たくさんの菓子店が並んでいます。その中に和菓子屋の老舗「一斗餡」があり伊藤風味はその店のひとり娘。地元のお菓子屋さんが集結してスイーツコンテストを開催することになり、風味も加わって家族で新作和菓子作りがスタート。コンテストまでに間に合うか「一斗餡」！物語に出てくる和菓子を想像するときっと食べたい誘惑にかられてしまいます！



“日本” or “和”と聞いて、みんなは何を連想しますか？歴史・食べ物・文学・アート・音楽など、たくさんあって一つには絞り込めませんよね。今、日本の「カワイイ・カッコイイ」という感覚が世界で共感され人気を集めていたり、伝統的な文化がCool Japanと言われ注目されていたりと、ニッポンの良さが外国にどんどん広まってきています！！そこで、今回は“和”の魅力をテーマに厳選した6冊をご紹介します！NIPPONの魅力、ここにあり！！存分に味わってくださいな。

「月の名前」高橋順子/著 デコ 2012年

446



月見の習慣、こよみ、かぐや姫の物語。
月はずっと昔から、日本人に親しまれてきました。
そんな月や、月を用いたものの名前を、皆さんはいくつ知っていますか？
月の形やこよみの呼び方、月の詩、慣用句など、400語もの「月の名前」と、月の写真を集めた一冊です。

「日本のもと 米」服部幸應/監修 講談社 2011年

61

日本の主食と言ったら、お米！
米作りが始まった頃、米に詳しい者は長おさになって米作りを教え、住民をまとめてきました。戦国時代では、米が戦の勝敗の鍵となったり、さらには、米の通帳がなければお米が買えない制度があったりとびっくりするような米の歴史がこの本ではたくさん載せられています。日本と米の関係が深いと感じますよ！



「長崎の教会」白井綾/写真・文 平凡社 2012年

523.193



この本は日本・長崎に建築された教会を撮った写真集です。
写真から静けさが伝わってくる教会たち…、
実は明治・大正時代に建てられた建物なんです。
ページを開いて、異国情緒あふれる日本の一面を覗いてみてください。